

令和3年12月2日

はじめに

令和3年12月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には御出席いただき誠にありがとうございます。

提出いたしました議案をはじめ、市の重要案件の審議につきまして、よろしくお願ひ申し上げます。

本日は私が初めて臨む定例会であります。

私の施政方針や掲げる政策について、一般質問や議案審議を通して、議員の皆様としっかり議論し、御理解をいただけるよう努めてまいります。

市政運営所信

はじめに、議会の開会に当たりまして、市政を担当する上での私の所信を申し上げます。

このたび長野市政を引継ぐに当たりましては、市政の安定性・継続性を大事にしつつも、必要なアップデートやバージョンアップをしながら、市政を更に前進させてまいりたいと考えております。

その上で、私が政策の柱とするものは「守る」、「育てる」、「輝く」の3つであります。

本市は、令和元年東日本台風災害で甚大な被害を受け、さらにその翌年から

の新型コロナウイルス感染症の影響は現在も市民生活に大きな影を落としています。

そのような状況の中、私は、自然災害や感染症から市民の健康と財産を守り、そして市民の暮らしをしっかりと守りたいと考えています。

また、子どもの貧困、虐待などの課題への対応を含めた子育て支援や、高齢者の健康づくり、生きがいつくりの支援、障害のある方の相談支援体制の整備などを通じ、支援が必要な方々を守りたいと考えています。

子育て支援策といたしましては、公約に掲げた「子育て総合支援センター」の設置に向け、具体的な機能を含めて庁内で検討を進めているところです。

行政DXも活用しながら、ワンストップで子どもに関する悩みや困りごとに対応できるよう取り組んでまいります。

また、本市が、希望ある未来に向かって更に発展するためには、人を育て、産業を育て、まちを育てることが必要です。

未来をつくるのは、子どもたちです。教育、スポーツ、国際交流などを通じ子どもの育ちを応援し、「子どもを大切にすまち長野」の中で、子どもたちの夢が大きく育つよう取り組んでまいります。

また、将来を見据えた、長期戦略2040やスマートシティNAGANOなどの取組により、新たな産業を育てるとともに、文化・芸術・スポーツの振興により、元気な長野市を作ってまいります。

そして、子どもも若者も高齢者も、女性も男性も全ての市民が幸せを実感し、輝くことができる社会を目指してまいります。

私は、生き生きと健康に暮らせることが幸せの礎と考えております。

このため、ラジオ体操などを通じ、市民の健康意識を高めたり、人と人の交流を深めたりすることにより、健康の「コウ」に「幸（しあわせ）」の字をあてる「健幸増進都市」を目指してまいりたいと考えております。

また、本市は 1998 年の長野冬季オリンピック・パラリンピックの開催都市であるとともに、豊富な観光資源や優れた自然環境、農産品などを有しています。オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進と合わせ、「ナガノ」の知名度を更に向上させ、世界のナガノとして輝くよう努めてまいります。

さて、本市の喫緊の課題は、なんといっても新型コロナウイルス感染症対策と令和元年東日本台風災害からの復旧・復興であります。

新型コロナウイルス感染症対策では、まずは、間もなく始まる 3 回目のワクチン接種を着実に進めてまいります。

また、新たに確認されたオミクロン株に対する警戒を含め、次の感染の波に対する備えに万全を期すとともに、社会経済活動の再開に向けた出口戦略として、大規模イベント時などの感染対策などについても専門的な助言ができる組織を、公約に基づき、年内にも設置してまいりたいと考えています。

併せて、現在のところ、全国的にも感染状況が落ち着いておりますので、まちなぎわい創出のための取組も進めてまいります。

市内では、先月の 23 日から表参道イルミネーションが始まり、同日に日本一の門前町大縁日イベントを長野駅前で開催いたしました。

来年には善光寺御開帳が行われます。今後の感染状況を注視しながらではありますが、善光寺御開帳を日本一の門前町大縁日で大いに盛り上げ、市内経済回復の起爆剤にしたいと考えております。

また、先日、長沼地区や東京都内で旬の市内産リンゴのトップセールスを行ってまいりました。市内経済の活性化のためには、本市の優れた農産品や観光資源を今まで以上に積極的に PR する必要があると考えております。

今後も様々な機会を捉え、また、新型コロナ収束後を見据えたインバウンド需要の回復も視野に入れながら、本市の魅力を広く発信してまいりたいと思ひ

ます。

台風災害からの復旧・復興につきましては、これまで災害復興計画に基づき進められてきた取組を、国、県にも更に強力に働きかけながら、着実に進めるとともに、流域治水対策としてため池等の既存施設の有効活用を進めるなど、地域の皆様と協力しながら、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

今、本市は2つの大きな困難を乗り越える途上にありますが、その先に待つ希望ある未来を見据え、大きく飛躍するための用意をすべき時でもあります。未来に向かって大きく羽ばたけるよう、ただいま申し述べました所信に基づき、全力で市政運営を行ってまいります。

財政運営

次に、財政運営について申し上げます。

我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さが見られ、供給面での制約や原材料価格の動向など下振れリスクについて十分な注意が必要な状況にあります。

このような中、政府は、「新型コロナウイルス感染拡大の防止」、「ウィズコロナの下での社会経済活動の再開と危機管理の徹底」、「未来社会を切り拓く新しい資本主義の起動」、「国民の安全・安心の確保」の4つを柱に据えた、コロナ対応や格差是正を含む経済対策を決定いたしました。

今回の経済対策では、財政支出により景気回復を後押しし、必要な費用を手当てする36兆円規模の補正予算の年内成立を目指すとともに、一体的に編成す

る令和4年度予算案と合わせ、切れ目ない対策を行うための「16か月予算」と位置付けた55兆7千億円規模の対策を行うこととしています。

一方、本市の財政は、台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響により依然として地域経済が低迷しており、市税収入に及ぼす影響は限定的ではあるものの、今後5年間の財政推計では、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策経費の増加等により、大幅な財源不足が生じるため、基金を取崩しての厳しい財政運営となることが見込まれます。

このため、令和4年度当初予算の編成に当たりましては、財政推計の状況を踏まえ、ワイズスペンディング、いわゆる政策効果の高い支出を徹底し、「健全財政の維持」を大前提としつつ、長野市総合計画後期基本計画の初年度に合わせてジャンプアップ体制を起動する「躍進の幕開けとなる施策実現」を図ることを予算編成の基本としています。

まずは新型コロナウイルス感染症対策と防災や復興のための取組を着実に進めるとともに、善光寺御開帳を契機とした市内経済の回復に繋がる事業や将来を見据えた「長期戦略2040」などに基づく事業のほか、私が公約に掲げた基本政策に関する事業にも予算を積極的に配分してまいります。

市の動向

続きまして、本年度の主な施策・事業の動向につきまして、申し上げます。

令和4年度を開始年度とする第五次長野市総合計画後期基本計画につきましては、本年9月に総合計画審議会から中間答申を頂きました。

後期基本計画の策定に当たっては、「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

を統合することとし、令和元年東日本台風災害から学んだ教訓、コロナ禍を踏まえたデジタル化の推進、SDGsの推進などの新たな視点も踏まえ、全55施策で構成しております。

この中間答申に対し、現在、パブリックコメントで御意見をお聴きしており、その意見を反映させた上で2月に審議会から頂く最終答申に基づき、後期基本計画を決定してまいります。

次に新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

まず、ワクチン接種につきましては、医療関係者の皆様の全面的な御協力の下、個別接種と合わせ、オリンピック施設等の大規模施設を活用した集団接種も実施した結果、11月25日現在、市内の12歳以上における2回目の接種率は87.0%となり、65歳以上については92.5%に達しました。

3回目となる追加接種につきましては、2回目接種から8か月経過後、出来るだけ速やかに接種することとし、県の方針を踏まえ、遅くとも10か月を経過するまでに接種を行うことを基本に進めてまいります。

現在、対象となる方に順次、接種券の発送を行っており、今月からは医療従事者を対象とした接種が開始されております。

次に、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内経済の回復策につきましては、「押し店プラチナチケット」第2弾を10月9日から市内1,774店舗で販売するなど、これまで切れ目のない支援を行ってまいりました。

また、本定例会に提出した補正予算案には新型コロナ関連事業として39億5千万円余りを計上しております。

今回の補正予算案には、子育て世帯への支援として、国の経済対策による「子ども支援給付金」とともに、公約で掲げた本市独自の「ながの子育て応援給付

金」の支給に要する経費を計上したほか、社会経済活動の活性化による市内経済回復のための事業等に要する経費を計上しております。

次に、令和元年東日本台風災害からの復旧・復興について申し上げます。

まず、被災地区の公共施設の状況ですが、国と本市が共同で整備する「長沼地区河川防災ステーション」上に建設予定の長沼地区の支所・交流センター、消防団詰所などの複合施設につきましては、地元検討組織と配置案・レイアウト等の協議を進めており、本年度中には、地元要望を取りまとめ、基本設計に反映していく予定としております。

また、長沼体育館は、来年8月に復旧工事が完了する予定であり、長沼児童センター、長沼保育園につきましても、それぞれ予定どおり移転・復旧を進めております。

豊野地区におきましては、(仮称)豊野防災交流センターを令和5年度中の完成を目指し、現在、地元検討組織と配置案・レイアウト等について検討を行っており、また、(仮称)豊野消防分署も来年5月から消防業務を開始する予定であります。

また、災害公営住宅美濃和田団地は、先月完成し、昨日から入居が始まりました。これにより、66世帯の被災者の皆様が安定した住戸でクリスマスや新年を迎えることができる見込みとなりました。

なお、国が定める延長要件に該当する75戸の仮設住宅の入居者につきましては、入居期限が延長されたものの、退去期限までに再建の見通しが立っていない方も一定数おられることから、引き続き、住宅再建に向けて個別に、被災者に寄り添って支援を継続してまいります。

千曲川の治水対策につきましては、長年の懸案であった立ヶ花狭窄部におい

て、河道掘削による拡張工事が行われているほか、全面被覆による堤防強化や、遊水地の整備による治水の安全度を高める対策を、国と連携して進めております。

本市に計画中の塩崎遊水地につきましては、先月に2回目の地元及び地権者への説明会が開催されました。引き続き、関係の皆様との合意形成を図りながら、国の事業に積極的に協力してまいります。

また、消防団につきましては、地域防災の要として、持続可能な消防団組織の構築を図る必要があることから、消防団の意向を踏まえながら、定数の見直し、大規模災害団員の制度化を進めるとともに、団員の年報酬等の処遇改善を行うための条例改正案を本定例会に提出しております。

次に、その他の主な施策・事業の動向について申し上げます。

身寄りのない高齢者を支援するため今年度開始いたしました「おひとりさまあんしんサポート事業」につきましては、身元保証や財産管理、死後の事務に関する相談・支援を行う「おひとりさま あんしんサポート相談室」を10月1日に開設いたしました。

日々の生活や人生の最後における不安を軽減し、安心して生活できるよう、包括的相談支援、地域づくり支援、参加・仲間づくり支援に取り組んでまいります。

放課後子ども総合プラン事業につきましては、プラン事業が目指すべき在り方を実現するための安定的・継続的な事業体制を構築するための検討を進めております。

放課後子ども総合プラン推進委員会に設置した小委員会において御検討いた

だいていた運営体制の在り方につきましては、本年10月に小委員会から中間報告がされたところであり、今年度中には一定の方向性を決定してまいりたいと考えております。

上田長野地域の水道事業の広域化の検討につきましては、本格的な人口減少社会を迎える中、水道事業の基盤強化を図り、将来にわたって安全・安心な水道水を安定して供給するため、広域的な施設整備計画、災害時の危機管理対策、組織体制などについて更なる検討を進めているところであります。

本年度末を目途として、「広域化の方向性報告（案）」を取りまとめてまいりたいと考えており、取りまとめました報告案につきましては、議会、住民、利用者の皆様に御説明し、御意見を伺ってまいりたいと考えております。

むすび

以上、本年度の主な施策・事業の動向について申し上げます。

さて、先日、札幌市において、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの大会概要案が公表されました。

大会概要案には、本市のボブスレー・リュージュパークがそり競技会場として記載されています。

札幌市では、今後、シンポジウムや意向調査など市民との対話を進め、その結果を計画検討に反映し、大会の招致を目指していくとのこととあります。

札幌大会が開催されれば、本年開催された東京2020大会同様、スポーツのもつ力で人々に大きな希望と勇気を与えてくれるものと期待しております。

札幌大会の実現に向け、本市としてもできる限り協力してまいりたいと考え

ております。

また、今月 24 日には、来年の善光寺御開帳に併せて開催する日本一の門前町大縁日の開催まで 100 日前となることから、翌 25 日に長野駅前広場で「100 日前イベント 街角アート&ミュージック クリスマスコンサート」を開催いたします。

さらに、来年 2 月には、長野駅や善光寺表参道の装飾を行い、多くの観光客をお迎えしたいと考えています。

先ほども申しあげましたとおり、今回の善光寺御開帳を令和元年東日本台風災害と新型コロナウイルス感染症によるダブルパンチを受けている地域経済回復の起爆剤としたいと考えております。

そのための取組を含めまして、市民生活と地域経済を守るための施策を着実に実施し、元気な長野市を創ってまいりたいと考えております。

希望ある未来に向かって本市が大きく飛躍できるよう、全力で取り組んでまいります。議員の皆様、また、市民の皆様には、御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

本定例会に提出いたしました案件は、「令和 3 年度長野市一般会計補正予算」など議案 48 件、承認 1 件、報告 8 件であります。

詳細につきましては、副市長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定を賜りますようお願い申し上げます。